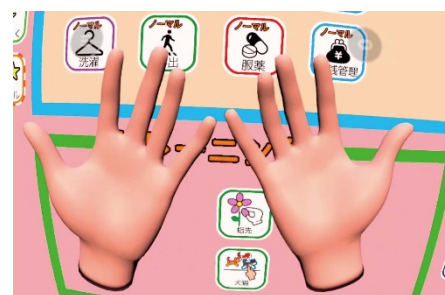




# ここが変わった! iADVISOR Ver2.0

バージョンアップで変わった内容をご紹介します。

## 1 ハンドトラッキング機能を追加 コントローラーなしで訓練ができる



今回大きく変わったのは、コントローラーを使わないで訓練ができるようになったことです。

患者様がヘッドセットをつけてご自分の手をみると、ヘッドセットのセンサーが手を認識します。画面上の手と患者様の手がシンクロしますので、実際の動作に近づきました。

コントローラーの操作を覚えなくても訓練ができるようになり、操作が難しかった患者様にも利用していただけるようになりました。

## 2 リハビリの目的を明確にして 3つのトレーニングに分類

今までのiADVISORはIADLの訓練が中心でしたが、実際にはいろいろな機能回復訓練をされているという現場の声をいただき、コンテンツを再考しました。

まずリハビリの訓練を「IADL」「高次脳機能訓練」「上肢機能訓練」の3つに分類し、目的に合わせたコンテンツを充実させました。症状によりどのような訓練が必要な患者様なので、訓練するコンテンツを選びやすくなりました。そして患者様に訓練可能なレベルがさまざまであることから、同じコンテンツでも難易度のレベルを設定しました。患者様の様子を見ながらステップアップができるようになりました。

### IADL

今までのコンテンツを  
ブラッシュアップ

### 高次脳機能訓練

認知機能の低下や注意障害  
のある患者様への訓練

### 上肢機能訓練

腕や手の動きを改善する  
ことを目的とする